



「熱帯材合板：東京五輪木材調達基準違反に関する通報」概要&一覧

環境NGOレインフォレスト・アクション・ネットワーク(RAN)

2019年7月(改訂版)

レインフォレスト・アクション・ネットワーク(本部:米国サンフランシスコ、日本代表部:東京都新宿区、以下RAN)は、2018年11月、3回にわたって、東京2020組織委員会、東京都、日本スポーツ振興センター(JSC)に、東京五輪・パラリンピック競技場建設に供給された熱帯材合板が、インドネシアの貴重な熱帯林を破壊していると通報しました。

苦情は全て、RANの調査報告書「[守られなかった約束](#)」(2018年11月発行)に基づいて通報されました。報告書の概要は次ページの通りです。

- RANは東京五輪の木材サプライチェーンを調査し、新国立競技場及び有明アリーナで使われたインドネシア産合板の全部ではないとしても一部が、インドネシアの大手伐採企業のコリンド社から供給されていることを報告書「[守られなかった約束](#)」で明らかにした。
- 同報告書は、コリンド社によるインドネシアの未開拓林での事業拡大に伴う皆伐、意図的な火入れ、土地収奪、地元住民への嫌がらせや令状なしの逮捕など悪質な行為が起きていることをまとめている。
- 2018年5月11日、コリンド・グループのバリクパパン工場で製造された合板が有明アリーナの建設現場で見つかり、その合板は住友林業によって輸入されていたことが明らかになった。
- 同工場が2017年に供給した木材の約4割は、植林やアブラヤシ農園、石炭採掘への土地利用転換に伴う皆伐に由来する「転換材」である。同工場の調達先には、東カリマンタン州のオランウータン生息地で皆伐された熱帯林も含まれていた。
- コリンド・グループの供給先である住友林業は、新国立競技場の建設にもインドネシア産合板を提供し、提供した木材に「転換材」が含まれたことを認めた。そのため、コリンド材が新国立競技場に利用された可能性は高い。

※東京2020組織委員会は通報受付窓口の運用の中立性・公平性を高めるために、通報処理を開始する場合には「助言委員会」を設置することにしています。一方で、東京都とJSCは助言委員会を設置することにはなっていません。東京都は、事実関係調査を行う場合は必要に応じて「専門家、弁護士、NGO等の第三者の知見を踏まえ」ることとしています。またJSCでは「法律や建築等の専門家等を含めたチームにおいて対応方針を検討するとともに、必要に応じて、その他有識者による助言を求めること」としており、助言委員会のような機能についての明記はありません。

苦情申し立て一覧(全6件)

①11月29日通報(米国西海岸時間)

①-1

- **通報先:** JSC
- **通報者:** ボルネオオランウータン、インドネシアの熱帯林、RAN、
- **被通報者:** コリンド・グループ、住友林業、大成建設、梓設計、隈研吾建築都市設計事務所
- **内容:** 新国立競技場建設での熱帯林の転換によるインドネシア産コンクリート型枠合板(コリンド社製、住友林業が輸入)の使用について、JSCの契約会社とサプライヤーが「持続可能性に配慮した木材調達基準」及び「持続可能性に配慮した調達コード」を尊重していないとして通報。特に、伐採・パーム油企業のTAN社がボルネオオランウータンの生息地の熱帯林を皆伐し、そこからの転換材をコリンド社の合板工場に供給していたことを問題視している
- **現状:** JSCの苦情受付窓口の判断待ち【継続】

①-2

- **通報先:** 東京都
- **通報者:** ボルネオオランウータン、インドネシアの熱帯林、RAN、
- **被通報者:** コリンド・グループ、住友林業、竹中工務店、東光電気工事、朝日工業社、高砂熱学工業異業種特定建設共同企業体
- **内容:** 有明アリーナ建設での熱帯林の転換によるインドネシア産コンクリート型枠合板(コリンド社製、住友林業が輸入)の使用について、東京都の契約会社とサプライヤーが「持続可能性に配慮した木材調達基準」及び「持続可能性に配慮した調達コード」を尊重していないとして通報。特に、伐採・パーム油企業のTAN社がボルネオオランウータンの生息地の熱帯林を皆伐し、そこからの転換材をコリンド社の合板工場に供給していたことを問題視している
- **現状:** 東京都の苦情受付窓口の判断待ち【継続】

②11月26日通報(米国西海岸時間)

②-1

- **通報先:** JSC
- **通報者:** RAN、WALHI北マルク、Tukインドネシア
- **被通報者:** コリンド・グループ、住友林業、大成建設、梓設計、隈研吾建築都市設計事務所
- **内容:** 新国立競技場建設でのインドネシア産コンクリート型枠合板(コリンド社製、住友林業が輸入)の使用について、JSCの契約会社とサプライヤーが「持続可能性に配慮した木材調達基準」及び「持続可能性に配慮した調達コード」を尊重していないとして通報。インドネシア北マルク州地域コミュニティでのコリンド社による土地収奪を問題視している。
- **現状:** JSCの苦情受付窓口の判断待ち【継続】

②-2

- **通報先: 東京都**
- **通報者:** RAN、WALHI北マルク、Tukインドネシア
- **被通報者:** コリンド・グループ、住友林業、竹中工務店、東光電気工事、朝日工業社、高砂熱学工業異業種特定建設共同企業体
- **内容:** 有明アリーナ建設でのインドネシア産コンクリート型枠合板(コリンド社製、住友林業が輸入)の使用について、東京都の契約会社とサプライヤーが「持続可能性に配慮した木材調達基準」及び「持続可能性に配慮した調達コード」を尊重していないとして通報。インドネシア北マルク州地域コミュニティでのコリンド社による土地収奪を問題視している。
- **現状:** 東京都の苦情受付窓口の判断で受付せず(理由: 該当企業からの木材が供給されていないと判断)【継続】※事実確認がサプライヤーからの情報提供にのみ基づいており、不十分であることを指摘している。

③11月21日通報(米国西海岸時間、11月26日修正)

③-1

- **通報先: 東京2020組織委員会**
- **通報者:** RAN、WALHI北マルク(ワルヒ: インドネシア環境フォーラム)、Tukインドネシア(トゥック)
- **被通報者:** 東京2020組織委員会、JSC(新国立競技場を管轄)
- **内容:** 新国立競技場建設でのインドネシア産コンクリート型枠合板の使用について、東京2020大会の「持続可能性に配慮した木材の調達基準」及び「持続可能性に配慮した調達コード」不遵守及び、監督不行き届きとして、東京2020組織委員会とJSCの両方を通報。組織委員会が住友林業にSVLK認証材を使っても良いとした点で、組織委員会自体が調達基準の違反に関与した点も指摘。
- **現状:** 通報の範囲外として受付せず【終了】
※調達基準の通報としては終了しているが、通報窓口の機能不全については継続して指摘している。

③-2

- **通報先: 東京2020組織委員会**
- **通報者:** RAN、WALHI北マルク、Tukインドネシア
- **被通報者:** 東京2020組織委員会、東京都(有明アリーナを管轄)
- **内容:** 有明アリーナ建設でのインドネシア産コンクリート型枠合板の使用について、東京2020大会の「持続可能性に配慮した木材の調達基準」及び「持続可能性に配慮した調達コード」不遵守及び、監督不行き届きとして、東京2020組織委員会と東京都の両方を通報。組織委員会が住友林業にSVLK認証材を使っても良いとした点で、組織委員会自体が調達基準の違反に関与した点も指摘。
- **現状:** 通報の範囲外として受付せず【終了】
※調達基準の通報としては終了しているが、通報窓口の機能不全については継続して指摘している。



参考資料

【通報窓口について】

- [東京2020組織委員会「調達コードに係る通報受付窓口の設置について」](#)
- [JSC「持続可能性に配慮した調達コード」に係る通報受付窓口 業務運用基準](#)
- [東京都オリンピック・パラリンピック準備局「持続可能性に配慮した調達コード」に係る通報受付窓口 業務運用基準](#)

【調達基準について】

- [東京2020組織委員会「持続可能性に配慮した調達コード」](#)
- [東京2020組織委員会「持続可能性に配慮した木材の調達基準」](#)(2019年1月改定版)
- [東京2020組織委員会「コンクリート型枠合板の調達状況について」](#)(2019年1月28日)

【RAN発行物】

- [RAN「プレスリリース:新報告書『守られなかった約束』発表 ～東京五輪木材供給企業コリンドの熱帯林破壊、違法伐採、人権侵害が明るみに～」](#)(2018年11月12日)
- [RAN「プレスリリース:RANとボルネオオランウータン、東京都とJSCに通報～新国立など五輪会場の木材、オランウータン生息地に深刻な危害～」](#)(2018/11/30)